

Speciality for Customer

PS - Innovation



2012年3月期 決算説明会

2012年5月21日

株式会社プロシップ

代表取締役社長 今泉 智

JASDAQ
3763

目次

I 会社概要

II 2012年3月期 連結業績

III 経営方針と戦略

IV 2013年3月期 連結業績計画

I 会社概要

プロシップの概要

- プロシップは、1969年創業以来、独立系企業として、コンピュータメーカーや特定ユーザーに偏らない立場で営業展開を図り、情報システム部門や利用部門に、より専門的な業務アプリケーションパッケージと各種サービスを提供して参りました。
特に固定資産管理システムにおいては日本有数のアプリケーションパッケージであり、上場企業を中心にあらゆる業種で延べ3,428社にご導入頂いております。
- プロシップフロンティアは、受託開発及び運用管理事業を中心に展開しており、2012年3月期より連結対象会社となりました。

社名 : 株式会社プロシップ
 設立 : 1969年4月
 資本金 : 431百万円
 代表取締役 : 今泉 智
 所在地 : 東京都文京区後楽2-3-21
 従業員数 : 175名(連結197名)
 TEL : 03-5805-6121
 URL : <http://www.proship.co.jp>
 事業内容 : ソフトウェアパッケージ開発販売
 ソフトウェアの受託開発
 システム運用管理サービス
 (2012年3月31日現在)

1969年4月	システムコンサルテーションを主要業務として、資本金150万円にて設立
1978年6月	会計システムパッケージ『ASPAC-I』を開発・販売
1980年3月	総合固定資産管理システムパッケージ『FASPAC-I』を開発・販売
1994年7月	総合情報システム『ProPlusシリーズを開発・販売
2000年1月	日本オラクルCAI製品として認定『ProPlus固定資産システム』
2003年12月	業界に先駆け『ProPlus減損会計システム』を開発・販売
2005年3月	ジャスダック証券取引所(現大阪証券取引所JASDAQ市場)に上場
2005年4月	中国大連市にプロシップ大連設立
2006年5月	株式会社プロシップフロンティア設立(日本バイナル社より営業譲渡)
2009年10月	資産除去債務対応版『固定資産システムV5.2』を開発・販売
2010年11月	IFRS対応(減損戻入対応)版『ProPlus固定資産システムVer5.3』を開発・販売
2011年4月	受託開発・運用管理等事業を子会社(株)プロシップフロンティアに事業譲渡
2011年10月	ProPlusクラウドサービス「ProPlus for C-x」を提供開始

主力製品

- ProPlusシリーズ: 企業力向上に貢献する本格的アプリケーションシステム

ProPlus

固定資産管理ソリューション

固定資産システム

リース資産管理システム

減損会計システム

賃貸借契約管理システム

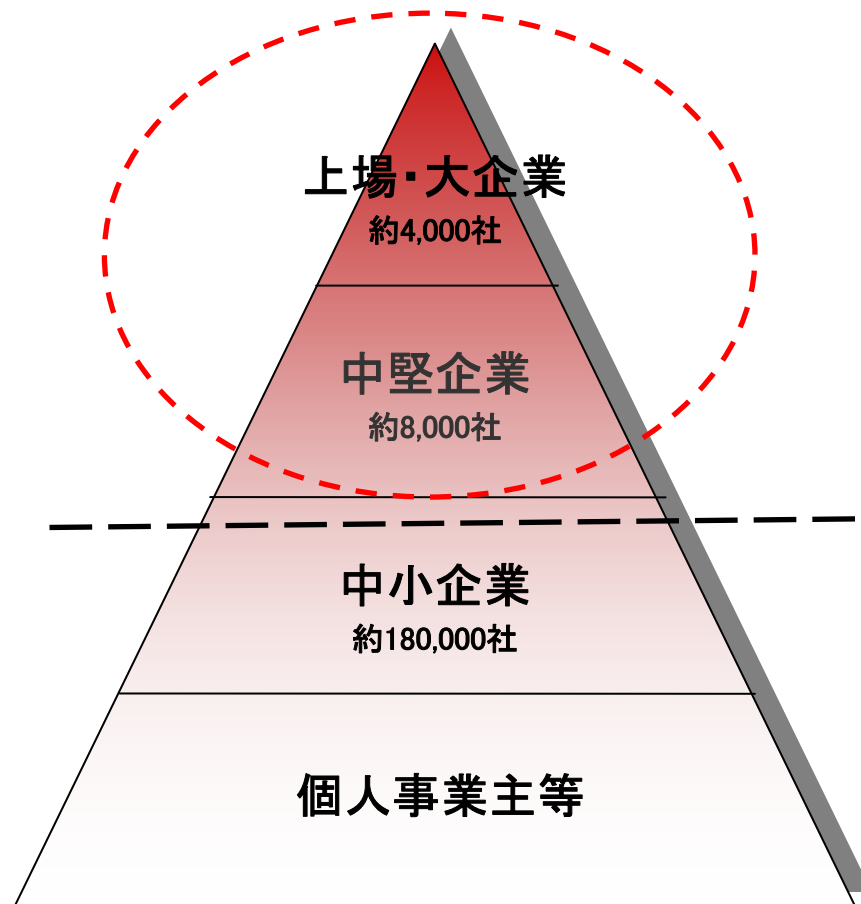
販売管理ソリューション

販売管理システム

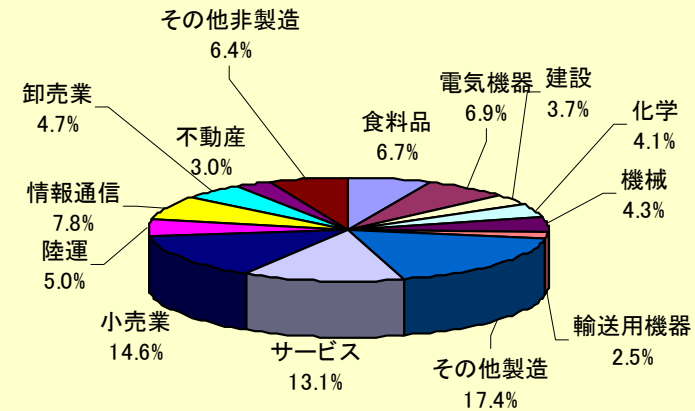
設備発注システム

ターゲット市場

- 上場企業・中堅成長企業をターゲットとして営業活動を展開



ProPlus導入企業(3,428社) 業種別構成比



2012年3月末時点

※証券取引所の定める新業務区分(33業種)による集計を行っております。

Ⅱ 2012年3月期 連結業績

決算ハイライト

売上高 3,409百万円

- 税制改正による既存ユーザーのバージョンアップ案件の獲得
- 顧客グループ会社への導入による受注の増加
- 国際会計基準(IFRS)の適用時期の見直しにより、システム導入時期を見直す動きが出たことから当初計画は下回る

売上総利益 1,996百万円

- ライセンス売上増加、開発工程のテンプレート整備による効率化により原価率低下
- 収益率の比較的高いパッケージ保守売上の増加

経常利益 1,096百万円

- 開発計画の見直しにより研究開発費が当初見込より減少
- 製品品質の安定化により、維持管理に要する修繕維持費が減少

損益計算書

- 前年比で増収増益となり、売上高7.2%増、経常利益は7.1%増となった。

(百万円)	2011年3月期 (単体)	2012年3月期 (連結)		
	実績	実績	増減額	増減率
売上高	3,165	3,409	244	7.2%
売上原価	1,332	1,412	805	5.7%
原価率	42.1%	41.4%	-	-
売上総利益	1,832	1,996	164	8.2%
販売管理費	830	908	78	8.6%
営業利益	1,002	1,088	86	7.9%
経常利益	1,019	1,096	77	7.1%
経常利益率	32.2%	32.2%	-	-
当期純利益	586	612	26	4.2%

※2012年3月期より連結決算を開始しております。

セグメント別業績

- パッケージソリューション事業 システム再構築及び税制改正対応等から前年比で受注高16.2%増、売上高7.2%増となった。
- その他事業 子会社にて新規案件を獲得したことから、前年比で受注高21.5%増、売上高12.6%増となった。

(百万円)	受注高			売上高			セグメント利益		
	2011年 3月期 (単体)	2012年 3月期 (連結)	増減率	2011年 3月期 (単体)	2012年 3月期 (連結)	増減率	2011年 3月期 (単体)	2012年 3月期 (連結)	増減率
パッケージ ソリューション事業	3,064	3,559	16.2%	2,831	3,034	7.2%	938	1,011	7.2%
その他事業	328	399	21.5%	333	375	12.6%	63	76	17.0%
調整額	-	-	-	-	-	-	-	0	-
合計	3,393	3,959	16.7%	3,165	3,409	7.7%	1,002	1,088	7.9%

※2011年3月期の数値は単体の値、2012年3月期につきましては連結の値にて、比較しております。

調整額はセグメント間取引消去によるものであります。

品目別の受注状況

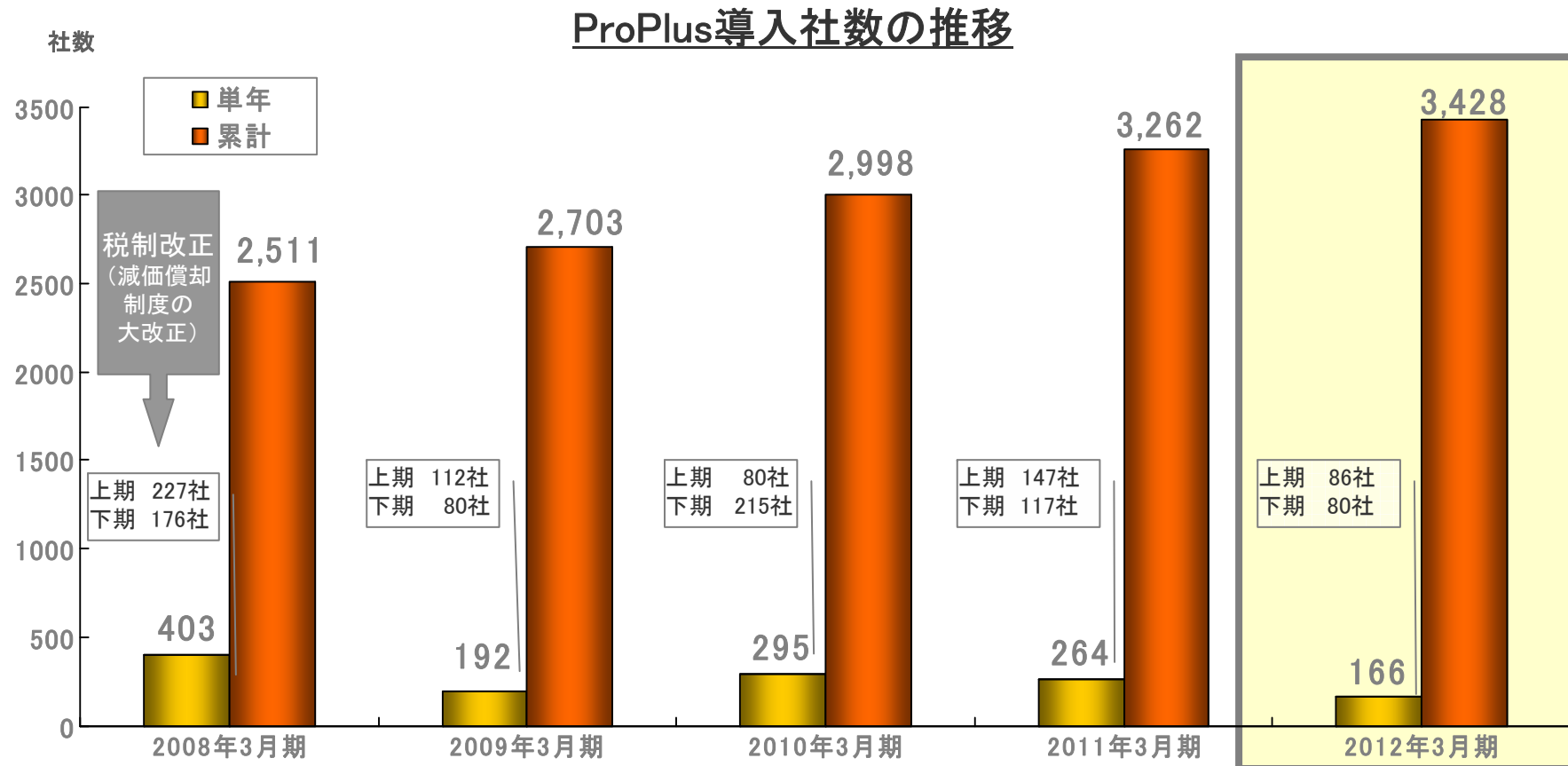
- 全体的な受注状況が改善し、受注高は前年比16.7%増、受注残高は前年比50.4%増となった。
- 特に保守については、パッケージ導入企業数増加及び保守サービスメニューの見直しによる単価の上昇により増加した。

(百万円)	受注高			受注残高		
	2011年3月期 (単体)	2012年3月期 (連結)	増減率	2011年3月期 (単体)	2012年3月期 (連結)	増減率
パッケージ	2,271	2,374	4.6%	636	789	24.1%
保守	793	1,185	49.4%	455	827	81.8%
受託開発	103	153	48.5%	0	25	4,210.3%
運用管理等	225	245	9.1%	1	0	△45.8%
合計	3,393	3,959	16.7%	1,093	1,643	50.4%

※2011年3月期の数値は単体の値、2012年3月期につきましては連結の値にて、比較しております。

ProPlusシリーズ導入実績社数

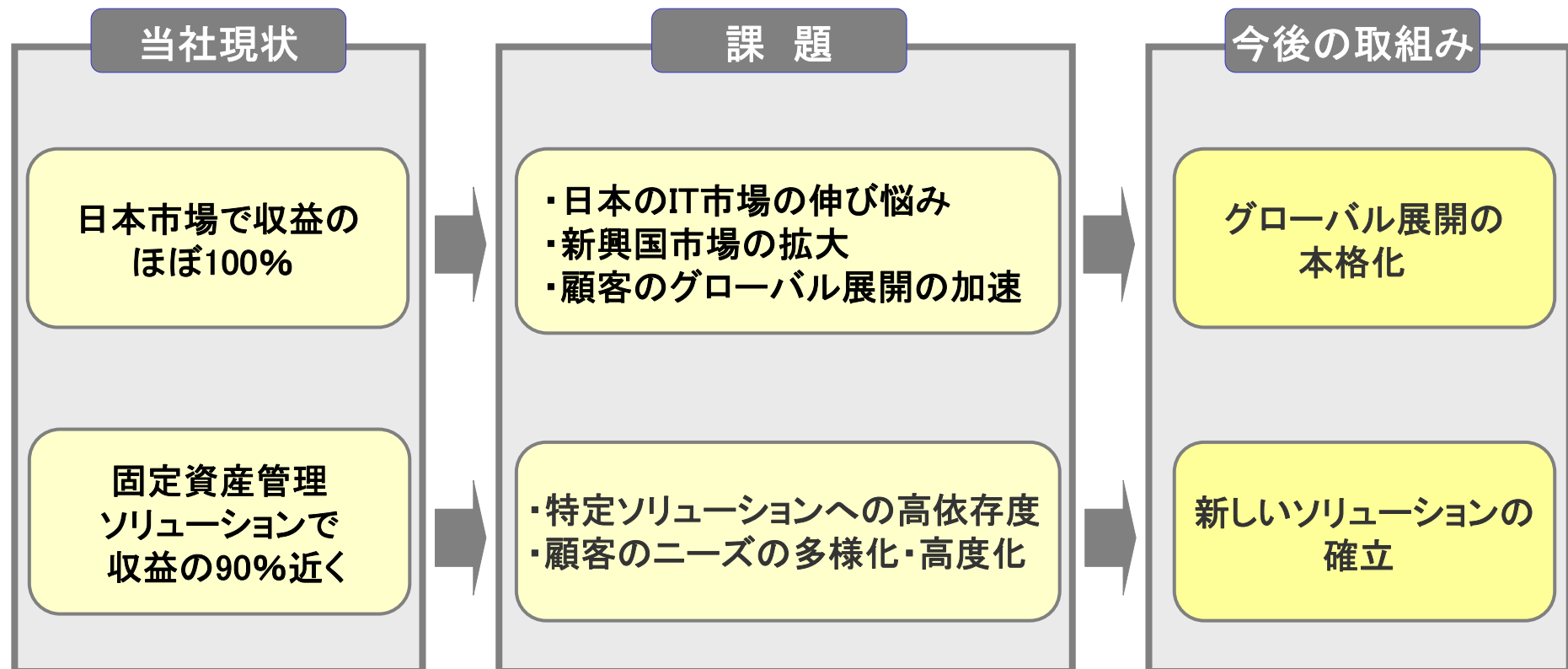
- 小型案件が減少し、中規模案件が増加したことにより、全体の導入社数は低い水準となった。



Ⅲ 経営方針と戦略

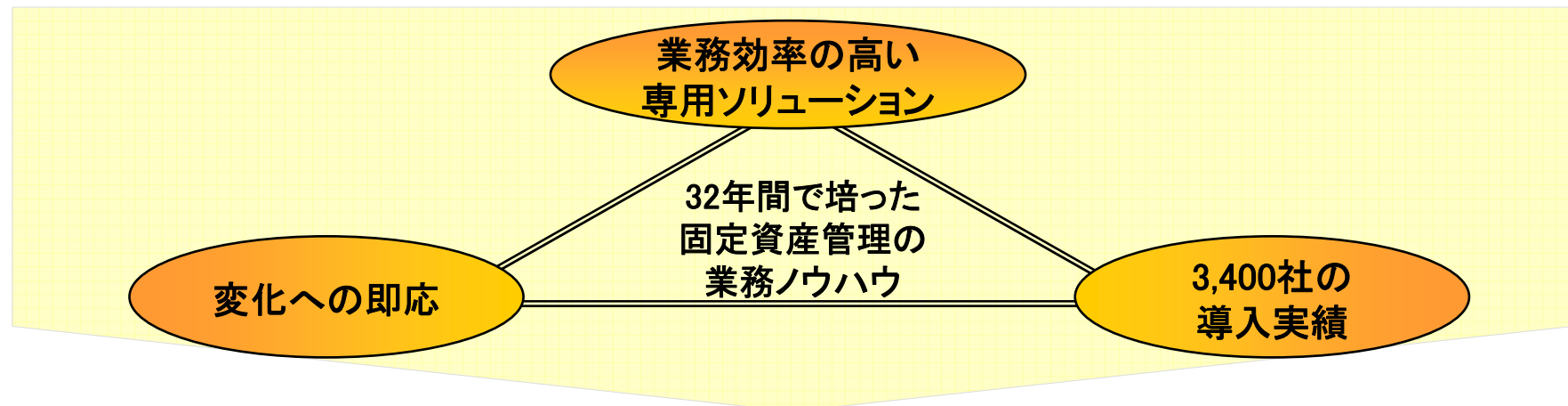
当社を取り巻く環境

高成長高収益の実現のために
グローバル展開や新ソリューションの立上げに注力



固定資産管理ソリューションのシェア拡大

- 固定資産管理に関する差別化を強化し、新しい顧客の開拓、既存顧客への深耕する



- 業種別ソリューションモデルの展開IFRSへの迅速対応

- クラウドサービスの本格展開

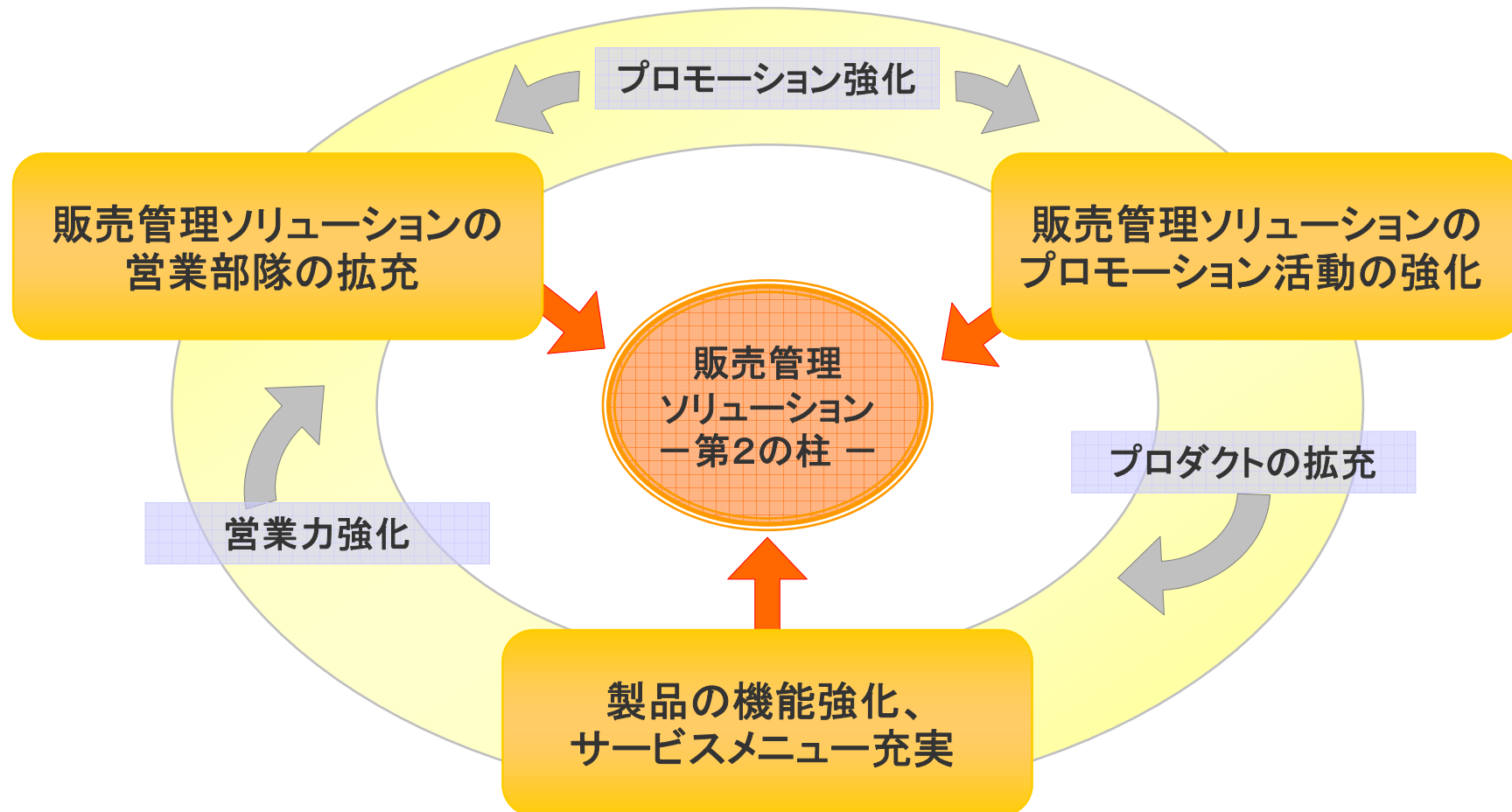
- 開発生産性向上による納期短縮化

- 製品サポート力の向上



販売管理ソリューションの確立

- 市場開拓余地の大きい販売管理分野を、第2の収益の柱とする



グローバル展開

新興国のシステムニーズを掴む

- **日系企業の海外現地法人へのシステム導入**
 - ・ グローバルで統一したシステムへのニーズが高まる
 - ・ 海外現地法人にも日本と同じレベルのマネジメント・ノウハウの適用
- **海外現地企業を対象としたシステム導入**
 - ・ 現地のパッケージシステムでは対応出来ない高度なシステムニーズ
 - ・ IT活用度の向上(人件費高騰、業務標準化)
- **海外案件の専任部隊の設置**
 - ・ 海外ビジネス営業本部を新設し、海外案件に特化した営業活動を実施

新しいソリューション開発への取組み

固定資産管理、販売管理に次ぐ新しい収益の柱の創出



専任組織での製品企画検討

社内選抜のプロジェクトチームによる製品企画検討
 専門コンサルタントの知見を活用したソリューション開発



IV 2013年3月期 連結業績計画

通期業績のポイント

将来的なIFRS対応やこれまでの制度改正対応及び
システム更新ニーズから、売上高増加を計画

売上高 **6,200百万円**

- 既存ユーザーのバージョンアップ案件の獲得
- クラウドサービス提案、グループ導入提案、業種特化提案による新規ユーザーの獲得
- 販売管理ソリューションの新規ユーザーの獲得
- 海外案件の専任営業部隊を新設し、海外での導入展開を強化

経常利益 **1,700百万円**

- 売上高増加に伴い、増益を計画
- 新ソリューション立ち上げに向けた研究開発費の増加、開発案件数の増加による外注費の増額を見込、利益率は若干低下

2013年3月期 業績見通し

(百万円)	2012年3月期 実績	2013年3月期 計画	増減額	増減率
売上高	3,409	6,200	2,791	81.9%
営業利益	1,088	1,650	562	51.7%
経常利益	1,096	1,700	604	55.1%
経常利益率	32.2%	27.4%	-	-
当期純利益	612	950	338	55.2%

2013年3月期(第44期)の配当政策

● 配当額の決定方針

株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、
配当性向30%を基本として、積極的に株主への利益還元に取り組む方針

2013年度3月期は70円の配当を実施予定

1株当たり配当額

(円)	2009年 3月期	2010年 3月期	2011年 3月期	2012年 3月期	2013年 3月期 (予想)
配当金額	60	60	60	60	70
記念配当	-	-	-	-	-
配当性向	52.9%	47.1%	37.1%	35.5%	26.7%

※中間配当は実施していません。

本日はありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社プロシップ 管理本部

TEL : 03-5805-6121

Mail : kanri@proship.co.jp

HP : <http://www.proship.co.jp>

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。